

AA19970014 J

1997年3月20日

亨月

1

卷八

四

中高一貫教育

**都道府県・指定市  
本社アンケート 「受験競争が激化」**

## ◆都道府県・指定 市教育長に聞く

都道府県

北海道森手城田形島城木馬玉葉京川渴山川井梨野阜岡知重賀都阪庫良山  
北青岩宮秋山福茨柄群埼千東神新富石福山長岐靜愛三滋京大兵奈政和  
和

中央教育審議会（文相の諮問機関）が一部の公立学校に導入する方針を示している中高一貫教育について、全国の都道府県・政令指定市の教育長五十九人のうち、賛成しているのは三割強の二十一人などとまつていていることが、朝日新聞社のアンケートでわかった。

賛成派は、高校入試のない、「ゆとり」の教育で生徒の個性に応じた教育をす

過半の三十七人は、受験競争が低年齢化しエリート校になるなどの懸念を示して態度を保留した。反対はなかつた。学制改革が必要と考える教育長は十五人。公立の中高一貫教育は教育改革の柱と位置づけられ、中教審が六月下旬にも答申を出すとみられてゐる。朝日新聞社は今月上旬から中旬にかけて、都道府

県教育長四十七人、政令  
定市の教育長十二人に対して五項目にわたり質問  
た。すべて「答えた  
い」と答えた札幌市以外  
五十八人が回答を寄せた  
中教審の方針について  
賛成の回答を寄せた二十  
人の理由の多くは、「ゆ  
り」をもつた六年間の一  
教育で子どもの個性を伸  
すことができる点を強調  
していた。一方、態度未定

教育長三十七人は根本的な問題として「受験競争が小学生段階に低年齢化する」「大学受験のエリート校になる」との懸念をあげた。現段階での検討状況をきくと、「中教審の答申を持った検討する」が二十五人、「当面検討する予定はない」が二十二人。つくる方向で検討中の回答は北海道、宮城、山口、岐阜など七人だった。

【一部公立学校への中高一貫教育導入への賛否】（賛成〇、どちらともいえない△、答えるれない×）

取根山島口鹽川媛知岡賀崎本分崎島綱定帆白葉渡崎屋都陽戸島州指九山千瀬川名東大神玄北

卷之三

道森手城田形島城木馬玉葉京川渴山川井梨野阜岡知重賀都阪庫良山

北青岩宮秋山福茨栎群埼千東神新富石福山長岐靜愛三滋京大兵奈